

大阪旭こども病院から患者保護者の皆さんへ“今知ってほしい”情報を発信します

喘息の患者さんが増えています！



喘息ってどんな病気？

発作的に気管支（空気の通り道）が狭くなり、ゼーゼー（喘鳴）や咳込みおよび息を吐く時間が長くなり呼吸が苦しくなる病気です。

なぜ喘息になるの？原因は？

アレルゲンや病原体が気道の粘膜に入ってくると、サイトカインという物質が作られ、それによって好酸球や肥満細胞が活発になり、気管支に慢性的な炎症を起こします。

元々の原因は、アレルギー物質（食べ物やほこりなど）が体に入ってくることから起こります。

治療法は？

発作が起こってしまったときに症状を抑える治療と、発作を起こさないようにコントロールする治療があります。発作には小発作・中発作・大発作・呼吸不全の分類があり、その程度で治療は異なります。予防的な治療も発作の起こる回数や程度によって異なります。

喘息って治らない？

喘息はアレルギー体質が気管支に作用している状態なので、内服薬や吸入薬でコントロールが可能です。ですから発作を治すよりも、起こさないようにコントロールしていく治療が重要です。

赤ちゃんでもなりますか？

小さな赤ちゃんはもともと気管支が細く筋肉も発達していないため、気管支炎を起こすと喘息のようにゼーゼーなりやすいので鑑別が難しいですが、乳児にも喘息は起こります。鑑別のポイントは一時的な状態か、何度も繰り返すかです。



当院の新型コロナウイルスの対応について

当院の外来で新型コロナウイルスのPCR検査は実施していません。

新型コロナウイルスの感染が疑われる場合は大阪府のホームページをご確認ください。

大阪府新型コロナ相談窓口

検索

当院の流行状況

手足口病とヘルパンギーナの患者さんが多数報告されています。

その他の感染症の報告は少なく落ち着いています。



〒535-0022 大阪市旭区新森4-13-17

社会医療法人 真美会 大阪旭こども病院

TEL: 06-6952-4771

<https://nakano-kodomo.or.jp/>



11月の壁面製作です



当院を受診される患者保護者の方へ

- 駐輪場が病院北側にあります。自転車で来院の際はご利用ください。
- お車で来院される際は、病院南側の立体駐車場をご利用ください。病院受診時や面会時にも無料でご利用いただけます。（利用時間6：30～21：00）詳細は常駐している警備員にお声かけください。近隣のご迷惑になりますので路上駐車は絶対におやめください。
- 病院本館東側に車寄せがあります。患者さんの乗り降ろしや、入院時の荷物の運搬やお迎えなどにご利用ください。なお、長時間の駐車はご遠慮ください。
- 待合の椅子には限りがあります。子どもたちが座れないことがないように、混雑時は譲り合っておかけ下さい。少しでも待合に多くの患者さんが座って頂けるよう、ご協力宜しくお願い致します。
- 当院は全館禁煙、敷地内も禁煙となっております。病院の外で喫煙されても煙が病院内に入ってくることがありますので、病院周辺での喫煙もご遠慮ください。また、たばこのポイ捨ても絶対にしないでください。病気で来ている子どもたちのためにもご協力よろしくお願い致します。
- 診察、検査、処置が終わるまで飲食はご遠慮ください。もどしたり、咳込みの原因になります。